

氏名	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日 年 月 日 ()歳	ミーラウンド参加者 <input type="checkbox"/> 医師() <input type="checkbox"/> 歯科医師() <input type="checkbox"/> 看護師() <input type="checkbox"/> 管理栄養士() <input type="checkbox"/> 歯科衛生士() <input type="checkbox"/> 介護職員() <input type="checkbox"/> 介護支援専門員() <input type="checkbox"/> その他()
ミーラウンド実施日	年 月 日 初回		
初回以外の評価日	観察項目・症状	観察ポイント・視点(看護・介護職の視点)	考えられる主な病態・障害(医師の視点)
/	食物の認識	<input type="checkbox"/> ボーンとしていないか、キョロキョロしていないか	食物の認知障害、注意散漫
/	食器の使用	<input type="checkbox"/> 口に到達する前にこぼすことはないか	麻痺、失調、失行、失認
/	食事内容	<input type="checkbox"/> 特定のものを避けていないか	口腔期、咽頭期、味覚、唾液分泌低下、口腔内疾患
/	一口量	<input type="checkbox"/> 一口量が極端に多いことはないか	癖、習慣、口腔内の感覚低下
/	口からのこぼれ	<input type="checkbox"/> こぼれてきちんと口に入っていないことが多いか	取り込み障害、口唇・頬麻痺
/	咀嚼	<input type="checkbox"/> 下顎の上下運動だけで回旋運動が見られないか <input type="checkbox"/> かたいものが噛めないことはないか	咀嚼筋の障害 う歯、義歯不具合、歯周病など
/	嚥下反射が起こるまで	<input type="checkbox"/> 長時間口にため込む、努力して嚥下しているようなしぐさは見られないか	口腔期、咽頭期
/	むせ	<input type="checkbox"/> 特定のもの(汁物など)でむせることはないか <input type="checkbox"/> 食事の始めにむせることがないか <input type="checkbox"/> 食事の後半にむせることがないか	誤嚥、咽頭残留 誤嚥、不注意 誤嚥、咽頭残留、疲労、筋力低下、胃食道逆流
/	咳	<input type="checkbox"/> 食事中、食後に咳が集中することはないか	誤嚥、咽頭残留、胃食道逆流
/	声	<input type="checkbox"/> 食事中、食後に声に変化することはないか	誤嚥、咽頭残留
/	食事時間、摂食のペース	<input type="checkbox"/> 一食に30~45分以上かかることはないか <input type="checkbox"/> 極端に早く、口に頬張ることはないか	認知障害、取り込み障害、送り込み障害など
/	食欲	<input type="checkbox"/> 途中から食欲がなくなることはないか	認知障害、誤嚥、咽頭残留、認知障害、誤嚥、咽頭残留、体力
/	疲労	<input type="checkbox"/> 食事の途中から元気がない、疲れる様子はないか	誤嚥、咽頭残留、体力
初回以外の評価日	観察項目・特徴的な症状	望ましい形態・形状・その他	具体例・食形態決定の視点(管理栄養士の視点)
/	食べる意欲がない 集中力がない 遊び食べ	色、見た目 匂いが食欲をそそのもの 甘い・辛いなど味がはっきりしたもの 味付けが濃いもの	(安全性や摂取角度を確認した上で)形が保たれているもの もともと好きなもの 食事環境を整える(静かな場所で摂取、楽しい雰囲気作り)
/	食べる量が少ない 疲れやすい		1回の摂取時間を短くする検討(少量頻回・補助栄養の検討)
/	うまくすくえない 口に入れる前にこぼす	スプーンなどでとりやすいもの こぼれにくいもの	食材は、スプーンの長さに合わせてカット、餡でまとまっている等 液体などは、ストローや吸い飲みを使う とろみの調整 ※食具の選定を検討
/	うまく噛めない 丸のみする 食物残渣が多い	噛まなくても送り込みやすい やわらか・まとまりやすい・変形する べたつかず粘膜に付着しにくい そのまま飲んでも窒息しない	ゼラチンゼリー 左記条件を満たすペースト状を検討 窒息を起こしにくい大きさにカットしたものとする
/	口の中にため込む 口に入れたまま止まってしまう	口腔や咽頭をなめらかに通過する べたつかず粘膜に付着しにくい	口腔器官の麻痺で送り込み困難の場合→ゼラチンゼリー (ゼラチンが口腔内で溶け誤嚥の原因になる場合もあるので注意) 食物を認知できない場合→(摂取可能な形態ならば)おにぎり・サンドイッチなどを手に持たせる
/	嚥下反射の遅延	味覚、温度覚、舌触りなどの感覚を強調するもの	ほどよく酸味があるもの(柑橘系のゼリー)
/	咽頭残留あり	まとまりやすい べたつかず粘膜に付着しにくい そのまま飲んでも窒息しない	窒息のリスクを防ぐ 食物の残渣が咽頭に垂れこむ誤嚥予防 を分けて考える
/	むせる 湿性嘔声あり	まとまりやすい べたつかず粘膜に付着しにくい ムセや湿性嘔声の状況を観察する (いつ起こるか。食事前・食事中・食事後、何の食品で起こるかを確認)	ゼラチンゼリー ペースト状
/	胃食道逆流あり	下食道括約筋圧を低下させるような脂肪の多い食事、胃酸分泌を 促進させる食事は控える	脂肪の多い食品は控える 胃酸分泌を促進する飲料の摂取を控える 少量頻回食